

■概要

- 平成30年に策定した「人とペットの災害対策ガイドライン」について、令和6年能登半島地震での避難所等におけるペット対応等を検証し、今後の災害に備えるため、改訂に向けた検討を進めている。
- 令和7年10月に「人とペットの災害対策ガイドライン」の改訂等に係る検討会を設置、今年度中の改訂を目指している。

■「人とペットの災害対策ガイドライン」の改訂等に係る検討会について

□ 検討会の目的等

- 令和6年能登半島地震での経験等を踏まえ抽出された課題への対応を検討し、さらに実用性を高めるべく、「人とペットの災害対策ガイドライン」の改訂を行う。
- 今年度4回程度開催予定(第1回:令和7年10月29日、第2回:令和7年12月1日に開催)。

□ 検討委員（五十音順、敬称略）

氏名	所属
加藤 謙介	九州医療科学大学 臨床心理学部 臨床心理学科 教授
遠山 潤	新潟県動物愛護センター 技術専門員
西村 裕子	一般社団法人 日本動物看護職協会 理事／一般財団法人 ひとtoペット 理事長
平井 潤子	公益社団法人 日本獣医師会 危機管理室 統括補佐／特定非営利活動法人 アナイス 代表
杉本 昌英	内閣府 政策統括官（防災担当）付 参事官（食事支援担当）

「人とペットの災害対策ガイドライン」の改訂について



■ガイドラインの改訂方針

令和6年能登半島地震への対応を通じて抽出した課題への対応、防災基本計画との整合、今後想定される災害への備え等を踏まえ、「人とペットの災害対策ガイドライン」を改訂するにあたっての課題として、以下の4点を抽出。

課題1:関係機関の連携

課題2:災害の種類や状況の変化等を踏まえた対応

課題3:情報周知・情報収集

課題4:その他(用語の整理等)

(第1回検討会における委員意見の例)

- ・現行のガイドラインや関連する副読本は内容が充実しているものの、実務担当者に十分浸透していない
 - ・避難所運営において防災部局と動物関係部局の連携が十分ではないように感じる
 - ・「同行避難」、「同伴避難」などの用語の定義が正しく理解されておらず、これらの用語を簡潔明瞭に再定義する必要がある
- 第2回検討会以降の意見等を踏まえて、災害時に対応を行う様々な主体の役割分担や連携方法について、より分かりやすく整理・解説するとともに、各主体がそれぞれにとって必要な情報を分かりやすく把握できるよう、ガイドラインの構成をはじめ見直しを進める。
- 用語を分かりやすくするほか、災害対応に係る最新の事例なども盛り込み、動物愛護関連部局だけではなく、防災部局など様々な主体が活用できるガイドラインとすることを目指す。